



当日のシロギス仕掛け

竿=全長1.8m シロギス竿
胴つき仕掛けを大遠投（私にしては）での1投目、着底後に糸フケを取るとすぐにブルブルン！ときた。18センチ

Tackle Guide

胴つき仕掛けは簡単にハリ交換できるのもメリット。ハリス付きの予備ハリを用意しておき、ハリ先が鈍ったら交換するとい。オマツリしたときにもビーズ部分でハリスを切って結び直すか交換すればいいのでオマツリ解きが簡単だ。

▼夏休み後半のファミリーフィッシングにもおすすめ



この数年どの釣り場もシロギスは不調をかこっていたから、飯岡も苦戦していたのかと思いきや「今年には好調そうですね」と船長に話を聞けると、「まあ例年どおりかな。今年は7月に入ってからの釣り場も、常連さん

船宿information

九十九里飯岡港
隆正丸
☎0479-57-5432
(詳細は巻末の情報欄参照)

▶料金=シロギス乗合一人 8000円 (エサ別、水付き) ジャリメ1パック 500円
▶備考=予約乗合、4時集合。別船はヒラメ、一つテンヤマダイなどへ



芳野 忠司船長

「今年には好調」はどうか、私のリサーチ不足だったようで、「今年も好調」な飯岡沖のシロギス。8月一杯くらいが目安というが、要望があれば9月以降も出船可能とのこと。出足が遅かった分、後半戦も期待十分。ベテラン勢だけでなく、ファミリーフィッシングとしても夏休みにおすすめの釣り物だ。

午前船は快適に終了

シロギスは所どころに点在して群れをなしているように、1尾掛かるとバタバタと連

発、ポイントを外れるとだれにもアタらず、また次の群れに当たるとバタバタという感じを繰り返して釣れていく。群れに当たるとテンビン仕掛けには一荷で掛かることもあり、これを見ると心が揺れる。では！ってんで胴つきの2本バリ仕掛けも試したが、上バリには一度も掛かってこなかった。

この日は中小型の多い一日だったが、時には20センチを超える良型やジャンボを彷彿させる大型も釣れていた。適度な風もあり涼しかった船上もさすがに日が高くなる

「今年には好調」はどうか、私のリサーチ不足だったようで、「今年も好調」な飯岡沖のシロギス。8月一杯くらいが目安というが、要望があれば9月以降も出船可能とのこと。出足が遅かった分、後半戦も期待十分。ベテラン勢だけでなく、ファミリーフィッシングとしても夏休みにおすすめの釣り物だ。



▲海底の形状をイメージしながら釣ることが大切



▲飯岡のシロギスは今年も順調に釣れている

旬の沖釣りをエンジョイ!

今がチャンス!
これから楽しみ!

釣りどきレポート

Best Season Report

10年に一度と言われる連日の猛暑。海に出れば少しは涼しげだけど、暑いことには変わりはない。そんなときは早朝、夜釣りなど涼しい時間帯の釣りもおすすめです。

手軽で気軽な夏の小物釣り 飯岡のシロギス今年も順調

●九十九里飯岡港発↓飯岡沖

フィッシングライター 相川 晃 Akira Kasukawa

九十九里の飯岡と言えども昔もシロギスの一級釣り場だ。ひと昔前はジャンボギスで名を馳せ、ちよっと慣れた人なら束釣り当たり前に釣れたものだった。私自身は最近とんとご無沙汰だったが、今年も7月に入り東釣り連発中と聞き、飯岡港の隆正丸へ釣行した。

知得! Tips and Tricks
ヨレヨレのエサがいい!

根魚釣りでは食われてヨレヨレになったタンザクエサはかりに魚が食い付いてくること。シロギス釣りにおいても同様で、食われてスタボロになったジャリメやアオイソメが不思議なくらいに魚に気に入られることがある。写真のエサもこのとき3尾連釣してスタボロだけど、そのまま投入したらすぐにまた食ってきた。「常に新しいエサ」も一理あるが、なんたってSDGsの観点からも……はウソだけど、こういったエサに食うときは食い込みも早いし、エサを付け替えずにいいから最高の手返しアップとなる。ぜひ一度お試しあれ。でも食わなかったらすぐに替えてください。

▶ヨレヨレのエサは食い込みも早く手返しもいい

当日はシロギス船2隻出しの盛況ぶり。私は芳野忠司船長操船の8号船に乗り込み、4時半過ぎに出船した。釣り場は航程10分ほどの飯岡沖。「水深10メートルです。準備ができた人からやってみてください」とスタートの合図が出る。まだ日が昇り始めたばかりで辺りは薄暗い。写真はもう少し明るくなってからと、私も朝イチから竿を出す。風の強さ、潮の流れとともに

適度と見たのか船長は横流ししていく。シロギス釣りで横流しは初めての経験だ。しかしこの流しは不発。次の流しでは船の向きを変え、今度は右舷が潮を抱え込む側となり、投げた仕掛けもすぐに手元に戻ってくる。船下に入り込むような状態で糸を張って待っていると、ブルブルン！ときて16〜17センチのシロギスが釣れた。

周りでもポツポツと釣れ出したのを見てカメラを持って船内を回ることにする。このとき船長に船の流し方を聞いてみると、「基本は横流しだけど、その時どきで様子を見て変えている」とのこと。ちなみに子供連れやビギナーが多かった11号船は、同じポイントながら釣りやすさ優先でパンカを立てエンジン



●かすかわ あきら / 関東地方の梅雨明けが報じられたこの日、海上では北寄りの風がソソヨソで快適に過ごせた。やっぱ跳子エリアは涼しい、なんて思っていたが港に帰ったら酷暑が待っていた。